

宮城県感染症発生動向調査情報(第17週)

宮城県【平成26年05月01日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2014.4.21 ~ 4.27 ・ 第17週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所						仙 台 市				宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第14週	第15週	第16週	第17週
水痘	4 0.80	10 1.00		1 0.50			1 0.50	6 0.23	22 0.38	815	○ →	レ →	○ →	レ
流行性耳下腺炎							3 1.50	6 0.23	9 0.16	191	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	70 14.00	108 10.80	9 1.80	19 9.50	10 3.33	21 4.20	3 1.50	321 12.35	561 9.67	8,504	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病						1 0.20			1 0.02	19	→	→	→	
伝染性紅斑		10 1.00	4 0.80	2 1.00		3 0.60		17 0.65	36 0.62	619	○ →	○ →	○ →	○
突発性発しん	4 0.80	5 0.50	5 1.00	1 0.50		4 0.80	1 0.50	22 0.85	42 0.72	557	○ →	○ →	○ →	○
ヘルパンギーナ	1 0.20								1 0.02	5	→	→	→	
インフルエンザ	130 16.25	120 8.00	32 4.00	15 5.00	43 8.60	112 14.00	120 30.00	178 4.24	750 8.06	28,138	◎ →	◎ →	◎ →	◎
咽頭結膜熱	3 0.60		1 0.20	4 2.00		2 0.40		10 0.38	20 0.34	149	→	→	→	
流行性角結膜炎		1 0.33						2 0.33	3 0.25	35	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13 2.60	25 2.50	8 1.60	7 3.50	11 3.67	12 2.40	1 0.50	64 2.46	141 2.43	2,328	◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)								1 0.20	1 0.08	7	→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎				2 2.00		1 1.00	3 3.00		6 0.50	140	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症				3 1.50	1 0.33	1 0.20		4 0.15	9 0.16	267	→	→	→	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		3					1			◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
	川崎病		1								【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansens-center/			
	不明発疹症							2						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※			3			1	2	6	40				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
2類感染症: 結核
大崎管内 女性1名(第16週)
仙南管内 男性1名、女性3名(第16週)、女性1名
登米管内 女性1名
仙台管内 男性2名(第13週)、男性2名
3類感染症: 報告なし
4類感染症: つつが虫病
栗原管内 女性1名
5類感染症: ウイルス性肝炎
仙台管内 男性1名
後天性免疫不全症候群
仙台管内 男性1名
梅毒
仙台管内 男性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 4例

今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【インフルエンザ】

気仙沼管内で警報値を超えた。
仙南管内で注意報継続中。
石巻管内で注意報値を超えた。
県内の患者数は第16週に引き続き今週も増加がみられ、特に気仙沼管内で増加が目立ちました。全国的には減少傾向となっていますが、B型に加えA型の流行もみられることから暫くは注意が必要です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎集団発生事例より
仙南管内 第17週採取分 ノロウイルスGⅡ 3件
塩釜管内 第17週採取分 ノロウイルスGⅡ 3件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第15週採取分 (4.7～4.13)	第16週採取分 (4.14～4.20)	第17週採取分 (4.21～4.27)
インフルエンザウイルスAH1pdm	1件	6件	0件
インフルエンザウイルスAH3	1件	0件	0件
インフルエンザウイルスB	0件	1件	0件
インフルエンザウイルス(解析中)	2件	1件	1件
RSウイルス	2件	1件	0件
単純ヘルペスウイルス	0件	0件	1件

【つつが虫病】

宮城県において、栗原管内で今年度初めてのつつが虫病患者の発生がありました。県では4月28日に注意喚起を行っています。つつが虫病は、ダニの一種であるツツガムシに刺されることによるリケッチア症で、高熱、発疹などの症状が見られます。山林、河原などに入る時は素肌を出さないようにするなどの予防対策に心がけてください。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群 (%)	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2014年 第11週		18.4	43.4	20.1	2.5	2.0	4.2	4.0	2.2	2.1	0.7	0.4	3,704
第12週		21.6	42.0	19.4	1.9	1.8	4.4	3.7	2.7	0.9	0.7	0.8	2,736
第13週		21.5	36.0	17.1	2.5	2.6	7.9	5.3	2.8	2.3	1.0	0.9	1,734
第14週		26.1	32.5	9.4	3.4	2.8	8.9	4.9	4.2	5.5	1.1	1.1	788
第15週		31.2	23.4	10.0	3.5	3.7	8.7	6.3	7.4	4.1	1.5	0.2	461
第16週		20.4	40.3	15.3	3.2	3.1	4.9	4.3	3.7	2.9	0.6	1.2	648
第17週		17.9	38.6	18.7	4.5	2.4	5.1	4.3	4.7	1.6	0.5	1.7	749

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第15週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第10週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は青森県(9.03)、山形県(8.83)、山梨県(8.48)である。40都道府県から報告があり、年齢別では10歳(12例)、1～9歳(66例)、10代(8例)、20代(2例)、30代(10例)、40代(3例)、50代(12例)、60代(18例)、70代(25例)、80歳以上(54例)であった。RSウイルス感染症: 報告数は513例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。咽頭結膜熱: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は島根県(1.13)、鹿児島県(1.13)、鳥取県(0.74)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山形県(4.53)、鳥取県(3.47)、富山県(3.28)である。感染性胃腸炎: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(16.31)、大分県(13.56)、熊本県(11.50)である。マイコプラズマ肺炎: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は富山県(1.20)、青森県(1.00)、宮城県(0.75)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る): 定点当たり報告数は増加した。38都道府県から183例報告があり、年齢別では0歳(25例)、1～4歳(138例)、5～9歳(16例)、10代(1例)、20代(2例)、40代(1例)であった。

インフルエンザ定点とは、小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で93定点(県:51、仙台市:42)となっています。